

【課題番号】 3MF-2503

【研究課題名】 サーキュラー・エコノミー型ビジネス実現のための転換シナリオ設計に関する研究

【研究期間】 2025 年度（令和 7 年度）～2027 年度（令和 9 年度）

【研究代表者（所属機関）】 木下 裕介（東京大学）

研究の全体概要

大量生産・大量消費型システムからの脱却に向けて、サーキュラー・エコノミー（CE）に資するビジネス（CE 型ビジネス）が注目されている。家電のシェアリングや衣服レンタルなどが例として挙げられる。CE 型ビジネスを日本で普及させるためには、単にリサイクル技術等の技術開発を進めるだけでは不十分である。少なくとも、従来の売り切り型ビジネスからの転換を促す政策・制度の設計、そして、製品・サービスの提供を通して消費者の価値（利便性など）を充足させるビジネスモデルの設計が必要である。このような問題意識のもと、本研究では CE 型ビジネス実現のための転換シナリオ設計方法を開発することを目的とする。すなわち、資源循環を通して環境負荷低減と経済的価値の創出を両立させるビジネスおよび政策・制度のあるべき姿に焦点を当てる。本研究では、様々な CE 型ビジネスのシナリオを作成する。本研究の特色は、対象製品として家電に着目し、家電メーカーおよび家電サブスクリプションサービスの事業者らと連携することで、消費者行動・消費者受容性を反映させたときの各シナリオのライフサイクル全体にわたる経済性・環境負荷を評価する点にある。そのために、製品ライフサイクルモデルと消費者行動モデルを統合化したシミュレーションモデルを開発し、さらに消費者を対象とした実証実験を通して新たなビジネスが社会に投入された場合の消費者行動データを取得する。以上により、CE 型ビジネスのシナリオ作成・評価・比較のサイクルを試行錯誤的に回せる手法を開発し、CE 実現のために効果的な環境政策を検討するための仕組みを構築する。

研究の全体概要図

